

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3064	(H.24)No.	3064
-----------	------	-----------	------

事務事業名		名張市観光協会補助金			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		観光交流室		永岡 良仁	63-7648
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施策	2	観光
	小施策	2	集客交流機能の向上
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	363503
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	商工費	観光振興対策費	
項	商工費	(小事業名)	
目	観光費	名張市観光協会補助金	

3. 事務事業の概要

事業概要	
観光産業の振興のため、名張市観光協会を中心として、観光資源の発掘や魅力あるまちづくりなど新たな取り組みをはじめ、情報発信や物産の振興など、市で取り組めない様々な事業を展開する。	

めざす効果(事業目的)	
民間活力により、観光資源の活性化と観光産業振興のための各種事業を実施し、入込客数の増大と観光産業基盤の確立を目指す。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]				
主な事業の実績・計画	・補助金 社団法人 名張市観光協会運営補助 4,500千円 社団法人 名張市観光協会育成事業補助 2,000千円		・補助金 社団法人 名張市観光協会運営補助 4,500千円 社団法人 名張市観光協会育成事業補助 2,000千円		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
					平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
	・補助金 社団法人 名張市観光協会運営補助 4,500 社団法人 名張市観光協会育成事業補助 2,000		・補助金 社団法人 名張市観光協会運営補助 4,500 社団法人 名張市観光協会育成事業補助 2,000		・補助金 社団法人 名張市観光協会運営補助 4,500 社団法人 名張市観光協会育成事業補助 2,000	・補助金 社団法人 名張市観光協会運営補助 4,500 社団法人 名張市観光協会育成事業補助 2,000	・補助金 社団法人 名張市観光協会運営補助 4,500 社団法人 名張市観光協会育成事業補助 2,000
直接事業費	6,500千円		6,500千円		6,500千円	6,500千円	6,500千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他()						
一般財源	(0)	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	
人工数	職員	0.16人	0.21人	0.21人	0.21人	0.21人	
	臨時職員等	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	
概算人件費	(0千円) 1,253千円		1,618千円		1,618千円	1,618千円	1,618千円
+ 総事業費	(0千円) 7,753千円		8,118千円		8,118千円	8,118千円	8,118千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	観光協会ホームページへの1日平均アクセス件数	-	-	-	-	440
	実績		410	283	290	350	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
<p>・社団法人として7年が経過したが、運営基盤がまだ脆弱な状態である。</p> <p>・活動指標としての観光協会ホームページのアクセス件数は内容の充実等により前年度より増加した。</p>	<p>・期待される役割や機能を発揮するためには、更なる運営基盤の強化が必要。</p> <p>・観光協会ホームページの内容の充実に今後も努め、アクセス件数増加を図ることにより、観光客誘致につなげていく。</p>

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<p>社団法人に関する法律の改正により、25年11月末までに一般社団法人へ移行を完了することとなり、今後は、法人としてさらなる事業の透明性・公平性が求められる。</p>	<p>市内観光の仕掛け役として、観光協会にはその役割に期待が寄せられている。しかし、一方で、取り組みが見えにくいとの意見も寄せられている。</p>

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

観光情報の発信や観光客誘致の事業において、観光協会の果たす役割は大きく、また観光協会の組織基盤も脆弱であることから、引き続き支援していく必要がある。

特記事項